

令和7年度 第1回 築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和8年2月9日（月） 午前11時00分開会

2 場 所 築上町役場 議会委員会室

3 出席者

（構成員）	築上町長	新川 久三
	教育委員会	
	委 員	折本 美佐子
	委 員	小林 正尚
	委 員	正野 法子
	教育長	久保 ひろみ

（構成員以外の出席者）

種子生涯学習課長、樽本教育施設整備室長、鍛冶総務課長、
脇山生涯学習課参事、中原学校教育課課長補佐、
藤江教育施設整備室課長補佐、寺門指導主事、上原指導主事

（傍聴者） 1 名

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

午前9時00分開会

○学校教育課長補佐（中原 寿浩君） 皆様、こんにちは。

定刻になりましたので、令和7年度第1回築上町総合教育会議を開催いたします。

進行を務めます学校教育課課長補佐の中原でございます。よろしくお願いいたします。本来であれば課長の則松が執り行うんですけれども、本日より公務により、国際交流の一環としてグアムのほうに出張に行っておりますので、事務局として随行しておりますので、御了承ください。

それでは、まず会議に先立ちまして1点御報告がございます。教育長、お願いいたします。

○教育長（久保 ひろみ君） 皆さん、おはようございます。

新しい教育委員さんをお迎えすることになりましたので、御紹介をさせていただきます。前任の鱒淵委員の後任として正野法子さんをお迎えすることとなりました。2月3日付で辞令を発令させてもらっているところでございます。正野さん、一言お願いいたします。

○委員（正野 法子君） おはようございます。正野です。初めてのことで右も左も分かりませんが、よろしくお願いいたします。

○教育長（久保 ひろみ君） 皆さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

○学校教育課長補佐（中原 寿浩君） ありがとうございます。

それでは、お手元に配付いたしました次第に沿って進行させていただきます。

2点目の町長挨拶でございます。よろしくお願いいたします。

○町長（新川 久三君） 皆さん、おはようございます。私の任期もあさってということで、11日までございますけど、実質上、明日が最後の務めになります。11日は建国記念日ということで休みになっております。今日、教育総合会議という形の中で、ただいま教育委員の正野さんから御挨拶がございましたが、鱒淵委員が町会議員に出馬して見事当選されました。その後任として正野法子さんを委員として迎えました。鱒淵委員も保護者代表でお願いしておりましたけれども、正野さんも保護者代表でお願いしたところでございます。議会も無事通過をいたしまして、2月3日付で辞令をお渡ししたところでございます。

そして、私ごとでございますけれど、椎田町から通算して24年間、町長を務めさせていただいて、今日が最後の教育総合会議の場となります。そういう形の中でいろんな形を振り返ってみれば紆余曲折ございましたが、教育行政、前向きに進んでいるのではなかろうかなと思っておりますし、あと後任の古市照雄町長におかれましても、私の路線を引き継いでいただけるという形もございますので、円滑なる教育行政が期待できると、このように思っているところでございまして、教育委員の皆様もぜひ、古市町長とともに教育をより一層、築上町の教育ここにありということで頑張っていただければいいかなと思っておるところでございます。

本当に長い間ありがとうございました。（拍手）

○学校教育課長補佐（中原 寿浩君） ありがとうございます。

それでは、続いて第3、報告事項ということでございますが、ここからは町長に進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○町長（新川 久三君） 毎度恒例で私がこの会議の進行を務めさせていただいております。

まず、各課から報告をお願いします。各課から説明の後、質疑の時間を設けたいと思います。

STEAM教育の推進についてということで学校教育課から説明をお願いします。

○指導主事（寺門 東君） 学校教育課の寺門です。濱田が出張のため代理で報告をさせていただきます。

ただいまからSTEAM教育の推進について説明をいたします。

STEAM教育については、県教育委員会の指定を受け、椎田中学校区を中心に町全体で推進をしています。

まずは、STEAMの実際の学習の様子について説明いたします。

こちらは、西角田小学校のあまおうプロジェクトの実践です。児童があまおうを使ったパフェを考案するというものです。御覧のように、チームに分かれてそれぞれが考えた案をプレゼンをしています。こちらは実際に作ったパフェでございます。この学習においては、御覧のように植物の成長条件から始まり販売コストの計算まで、様々な知識や技能が必要となります。これらは御覧のように科学、技術、工学、芸術、数学と様々な分野に整理されます。つまりSTEAM教育とは、このような様々な分野の学びを活用しながら創造的に学ぶ教育と言えます。

築上町においては、STEAMの推進においてワクワク感、教科等横断、実社会・未来社会とのつながり、創造性の4つをキーワードとして学びを進めているところです。

こちらは椎田中学校の実践です。町の人口減少という課題を出発点として、生徒たち自らがまちづくりのプロジェクトを考えました。御覧の画面のこの一つ一つが生徒が考えたプランです。このような提案に至るまでの活動では、御覧のようにタブレット端末を活用しています。また学ぶ形態も、個別、ペア、グループなど、生徒自らが学び方を選択しているのも本町におけるSTEAM教育の特徴の一つです。

ここで、生徒が議場にてまちづくりのプランを提案した様子のニュース映像を御覧ください。

STEAM教育の取組は現在2年目となりました。今年で2年目が終わるところでございますが、最近は3Dプリンタ、生成AI、ドローンなどの新たなテクノロジーも取り入れて、より創造的に学ぶようにしています。これからも、ワクワク感、教科等横断、実社会・未来社会とのつながり、創造性の4つをキーワードに教育委員会が学校に伴走しながら進めていきたいと考えています。

説明は以上です。ありがとうございました。

○町長（新川 久三君） ありがとうございました。

では今のこの説明について、何か質問があれば承ります。どうぞ、教育長。

○教育長（久保 ひろみ君） 質問といいますか、このような取組をしているのは、大きな目標としては、21世紀を担う持続可能な社会のつくり手を育成していこうということで、やはり今までの一斉指導だけではなくて、子どもたちが自ら課題を見つけて、そして探究的に学んでいく、そういう取組の一つでございます。まだまだ2年目ということで、取組自体は来年が最終報告会になりますので、さらに研究を深めていただきたいと思いますと思っているところです。

特にこの取組は椎田中学校区の小中学校全体で一緒に進めているということで今、一つの学

校だけであるのではなくて、今後は全町的に広げていきたいというふうに考えているところです。

○町長（新川 久三君） 補足の説明がございました。ほかにないですかね。

なければ次の議題で、国際交流事業について、学校教育課からまた説明をお願いします。

○学校教育課長補佐（中原 寿浩君） 学校教育課の中原でございます。ただいまから国際交流事業について御説明をいたします。

国際交流事業についてなんですけれども、本事業は昨年2月に、町長をはじめ教育長、議長、中学校の校長先生及び事務局がグアムを訪問し、椎田中学校と築城中学校がグアムにあるホセリオス中学校と姉妹校の締結を行ったことからスタートしております。

本年度は、御覧のようにグアム現地でのプログラムに参加する生徒を募集いたしました。この事業は、海外生活体験を通して英語力の向上や国際感覚を身につけ、グローバルな感性や豊かな人間性を持った青少年を育成するとともに、姉妹校であるホセリオス中学校との友好親善及び相互理解を深めることを目的としております。

中学校1・2年生を対象に募集をいたしまして、書類選考、面接選考を経て8名の生徒を選定しております。内訳としましては、椎田中学校の生徒が4名、築城中学校の生徒が4名でございます。それに加えて、事務局として学校長をはじめ、先生方が椎田中学校が2名、築城中学校が1名、随行しております。それに加えて事務局が学校教育課長と学校教育課の参事、2名随行の合計13名で事業を進めております。参加する生徒たち含めまして、本朝5時半過ぎに集合しまして、6時頃にはこちらを出発して、福岡空港から名古屋を経由してグアムに行くという予定で本日は進めているんですけど、機材繰りの関係で予定が少し変わっていると聞いております。4泊5日、2月13日の金曜日まで様々なプログラムを体験していただくという形で計画しております。

明日、あさってにつきましては、ホセリオス中学校を訪問し、交流や現地の授業を体験していただくということになっております。

また、グアム現地と築上町をオンラインで結び、交流するプログラムも計画しております。

3日目につきましては、グアム大学で大学の教育プログラムを受講していただく形としております。

なお、生徒参加による研修報告会を2月26日に役場の3階会議室で実施する予定にしております。写真は、訪問に向けて複数回開催した事前学習会の様子です。

町の子どもたちが今後、英語力、コミュニケーション能力、国際感覚が向上するような支援を続けていきたいと考えております。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） 説明が終わりました。何か質問ございますか。いいですか。

では次の議題、築上町図書館「築きのもり」についてを生涯学習課から報告をお願いします。

○生涯学習課図書館係（脇山 千賀子君） 生涯学習課図書館係の脇山でございます。ちょっと資料は特別に用意しておりませんので、口頭にて説明をしたいと思います。

昨年11月22日にオープンしました築上町図書館「築きのもり」について御説明いたします。まず、1番目に概況です。

利用状況ですが、令和8年1月末現在で約2か月たちました。来館者数は延べで4万5,143人、うち夕方6時以降の入館者数は2,002人となっております。

そして利用者カードの作成者の数は、1,035人が新たに登録をして本の貸出しを行っております。

延べの貸出し人数は5,016人、貸出し冊数は1万7,323冊となっています。

図書館にあります蔵書の数についてですが、1階、児童書は1万5,290冊、雑誌は44種、2階には新聞5紙、それと移転後に新設しましたヤングアダルト、10代向けのコーナーにつきましては約728冊、そしてCD・DVDのAV資料につきましては294点、一般書は2万3,371冊で、1階と2階の開架の書架は4万288冊、配架しております。そして3階の開架書架は3万903冊と、合計で7万1,191冊を蔵書しております。

次に、職員ですが、町の職員が4人、会計年度任用職員が12人、合計16人で運営しております。館内が広がったことから、昨年、運営サポートボランティアと読み聞かせのボランティアを募ったところ、一番若い方で中学生、高齢の方は80歳の方まで幅広い25人の方に手を挙げていただきまして、2回の講習・講義を受けていただいて、その後また実習もを受けていただいて、現在活動していただいているところです。

ボランティアの活動内容としましては、書架の整理や利用者への御案内、あと1階「あそべるほんだな」の見守り等が主な活動内容となっています。

2番目に、令和7年度の事業及びイベントについてです。

例年行っている事業もありますが、図書館移転が令和7年度は大きな行事というか、事業となっておりましたので、令和7年7月1日に電子図書館をスタートしました。そして、コマーレの旧図書館は8月17日に閉館セレモニーを行いまして、閉館というふうな形になりました。そして9月末から引っ越し作業を行いまして、11月22日に開館記念式典及び絵本作家・宮西達也氏の講演などを行ったオープニングイベントを開催いたしました。

そして3番目に、移転後のサービス拡大についてです。

まず1番目に、開館時間の延長という形です。休館日・火曜日を除く平日については10時から夜8時まで、土日・祝日は夕方6時までの開館時間の延長となっております。ハード面はもちろんそうなんですけども、全館Wi-Fiの整備、また住民参画によるイベント及び展示企画の

実施、あと毎週末のお話し会やイベントの開催、館内でのDVDを見るブースの設置、そしてインターネットによるサイレントルームの座席予約など、DXに向けても取り組んでおります。また、タブレットの貸出しやInstagramのアカウントの開設、一番大きなものとしてはカフェの新設です。隣にあるカフェの御利用も連日多くて、好評を得ております。

今後も、より魅力的な図書館になるようサービスの充実を図るとともに、SNS等を通じて情報発信をしていきたいと考えています。

4番目に、課題と今後の展開ということで、課題としましては、図書館の交通手段の確保です。これは生涯学習課だけで解決する問題でもありませんので、町全体で考えていくべき課題と考えております。

それと人件費や物価高騰による維持管理費、この先の予算確保も課題と考えております。

そして今後の展開ですが、この2か月半、館内の様子を見まして、1階の施設の子どもの利用、本の貸出しはもちろん、2階の学習席の利用、また長時間の利用者も大変多く、住民の居場所となっていると感じています。図書館は誰でも無料で使える文化・情報発信の施設であるだけでなく、築上町オリジナルですが、遊びながら楽しみながら本と触れ合える図書館は新しい図書館の在り方であり、様々な可能性を持つ施設と感じています。

また、子育て世代が子どもさんに読み聞かせをしている姿や、子どもさんを通じてお母さん同士がコミュニケーションを取っている姿をよく見かけます。こういう姿は子育ての一助になっていると実感しているところです。

簡単ではございますが、築上町図書館築きのもりについての説明を終わります。

○町長（新川 久三君） 御苦労さまでした。ただいまの説明について何か質問はございますか。折本さん。

○委員（折本 美佐子君） 折本です。質問ではないんですけども、今脇山参事の報告を聞かせていただきまして、来館者が、既に4万5,000人超えということで、本当にうれしく思います。思い起こせば、何年前だったか、3年前だったか、3年半ぐらいですか、総合教育会議で図書館の話が出たことを懐かしく思っております。それから隈研吾事務所に設計を頼んでいただいてという流れだったと思うんですけど、出来上がるまでに町長、教育長はじめ、関係課の皆さん御苦労も本当に多かったと思うんですけども、こうやって完成してみて、私もちょくちょく行っています。本当にいいです。感じるのが、やっぱりさすが隈研吾事務所さんといえますか、うちの町にぴったりくる緑と調和した、中から外を見てもいい感じだし、外から中を見てもいい感じだし、何よりそこにいると居心地がいい、癒やされる、元気がもらえる。ここに書いてある「出会う・つながる・わくわくする」というのを本当に満たしてくれているなというのを本当に利用していて思います。これからやっぱり維持していくことでお金もかかっていますが、私も

町民として、また教育委員としてできることは一生懸命やり、またこの図書館をいい意味で育てていかなければいけないなと思っております。ここで町長に、この御決断をいただいて本当にありがとうございましたと感謝を伝えたいです。町長、ありがとうございました。

以上です。

○町長（新川 久三君） 質問じゃなくて意見をありがとうございました。

ほかに何か質問ございますか。なければ次の項目に移ります。

椎田地区小中一貫校建設事業についてということでお願いします。

○教育施設整備室（樽本 知也君） 教育施設整備室の樽本でございます。資料は本日お配りしているスケジュール等の資料を御覧ください。

教育施設整備室からは、現在の椎田地区小中一貫校の建設事業について、スケジュール等の工事概要について説明させていただきます。

事業の工程につきましては、お手元の事業の全体スケジュールでございますが、令和5年度から本事業の設計業務を進めてまいりまして、昨年、そして今年にかけて実施設計を終えまして、本年度は条件付きの一般競争入札によりまして、建設業者の選定を行いました。そしてようやく、何回か不調になったという流れもございましたが、9月末から川口・大同特定建設工事共同企業体によりまして、校舎棟の建設が今始まっております。

建設工事は、予定どおりということで、令和9年3月までを計画しておりまして、令和9年4月からの開校を目指しております。

また、校舎棟が、開校した後、令和9年度から令和11年度にかけては、校舎棟周りの外構2期工事、そして旧校舎の解体を3期工事、そして小学校グラウンドの工事を4期工事、そして最後に中学校グラウンドの工事を5期工事といたしまして、児童生徒が通う中で工事が進んでまいりますので、安全面を考慮いたしまして、1期から5期までの各工事の期間を重複しないような形での計画としております。

なお、正門下の敷地外に約120台程度の駐車可能な駐車場の整備も計画しております。現在、外部駐車場につきましては、本年度に用地買収を終えまして、現在、仮設の臨時駐車場、また工事ヤードとして使用しておりますが、工事の期間内、あるいは状況を見ながら建築工事の完成後に舗装を含めた駐車場の造成工事も併せて行っていく計画でございます。

なお、建物は鉄筋コンクリート造の3階建てとなっております。延床面積は1万2,630平米となっております。また、今回建設する小中・地域コミュニティー型校につきましては、環境面に配慮いたしましてオール電化施設としております。また、学校では珍しいんですけれども、上履きを廃止いたしまして一足制に対応した建物として計画しております。

建物の構成につきましては、後ろのほうにもつけておりますが、1階に小学校の1年生から

4年生までの教室、また特別支援学級、教職員や保健室、校長室など管理諸室を配置しております。そして2階に、小学生の5・6年生と中学校の1年生から3年生までの教室、また理科室等の特別教室を配置しております。そして一番上の3階には、今現在もう老朽化しております椎田中央公民館の代替施設として利用可能な多目的ホールや事務室や会議室を建物の西側に集約して配置しております。

また、学校施設ではありますが、地域の方々にも利用していただけるような音楽室やッキングスタジオ、技術科室、STEAMラボ等特別教室を東側に配置しているところでございます。

非常に簡単ではありますが、現在までの建設工事のスケジュールについて説明させていただきました。以上です。

○町長（新川 久三君） お疲れでした。ただいまの説明について何か質問ございますか。いいですか。では折本委員。

○委員（折本 美佐子君） 折本です。今の3階の説明を聞いてちょっと質問させていただきたいのですが、私は教育委員をしておりますが、個人で少しですけどもグループの合唱の指導もしております。例えばうちのグループがここを使いたいってなったときに音楽室も使えるという今説明だったんですけど、音楽室が授業で使っていなければ使えるという解釈でいいですか。

○教育施設整備室（樽本 知也君） 我々が建物の建設の担当になりますので、はっきり運用上の関係が伴ってくると思いますが、建物の建設の中で一番苦慮したのがセキュリティーゲート。要は一般の人が入ってくるとなりますとなかなか学校面の安全対策等が非常に重要な事項になりますので、基本的には3階までエレベーターで外部の方との入り口を分けまして、そして3階にそのまま上がってもらいまして、事務室のセキュリティーゲートを通した方が入れる、安全面を考慮してそういった構造にしておりますので、今おっしゃられたような、それが平日使えるのかとかいう話は運用上の問題になるかと思いますが、そうした問題点をクリアするような施設として整備を考えておりますので、今後、皆さんの御意見も伺いながらそういった運用が可能な施設として建設しているところでございます。

以上でございます。

○委員（折本 美佐子君） 分かりました。ありがとうございます。

○町長（新川 久三君） ほかにございませんか。なければ質疑を終わりたいと思います。

次に意見交換ということで、先ほどから意見も出ておりましたけれども、意見交換ということで今までの全ての4つの項目に対して意見の交換をやりたいと思いますが、どなたか発言願えますか。小林委員。

○委員（小林 正尚君） 失礼します。先ほどから4点について説明ありましたが、まず1点目、STEAM教育ですが、自分も現役のときからこだわったのが、子どもの学習意欲というところ

です。学習意欲をどうやって高めるかというところで、このSTEAM教育が、これまで総合的な学習とかで日頃行っている基礎基本の学習を活用してやってきたところのさらに発展的なところでSTEAM教育が位置づいていると思うんですけど、このことによって子どもたちが何のために学校に来て何を学んでいるかというところが、非常に身近な教材で、さらに地域の自分たちのこれから大切にしくなくちゃいけないような教材をもって学んでいけるという、その学習の価値観が非常に体験的に子どもたちが感じるんじゃないかな、その点で学習意欲が非常に高まってくんじゃないかなと思いますので、STEAM教育についてはさらに、御苦労もあると思いますが、推進していただけたらありがたいなというふうに思います。

それから、2点目の国際交流につきましても、子どもたちが何となくこのグアム、英語圏の表現力とか、いろいろちょっとわくわくするような感じがそこでも意欲がぶわーと高まるような何かそんな感じがして、ぜひこれも今後推進してもらいたいなというふうに思います。

それから、3点目の築きのもりにつきましては、自分の孫も行っただけでいろいろ過ごして楽しかったということで帰ってきておりますので、自分もちょっと空いているときに見に行ったら、何か絵に描いたようにあそこの遊び場の周りで親子がブロックかな、何かしたりとかしながら本を見たりとか、本当理想のような光景が浮かんで来て非常にいいなというふうに感じました。

4点目の小中一貫の工事のほうも大変御苦労されながらここまで推進されて、大変ありがたいなというふうに思っています。これも町長さんが温かく見守ってもらって推進していただいたおかげで築上町の4本柱というか、それが非常にいい方向に行っているなというふうに感じております。

以上です。

○町長（新川 久三君） ありがとうございます。ほかに何かありますか。なければ私から聞いていいかな。

以前に、このSTEAM教育というか、上城井のキクイモの取組があつて、これもこの一環になるのか。それと椎田小学校と八津田小学校が海のアサリ貝を4年生で砂を入れて海につけて、そして5年は観察、6年生で食べると、そういう計画で事業をやっていると思いますけど、これもSTEAM教育の一環になるのかどうか。

○教育長（久保 ひろみ君） 今町長の言われたように、上城井のキクイモも販売までしていますので、これもSTEAM教育の一環として考えています。椎田のアサリの取組についてもSTEAM教育の中のカリキュラムに位置づけて実践しております。まさに地域教材を学ぶということの主眼に置きながらこのSTEAM教育を進めていまして、新しいことに目を向けるということももちろん大事なんですけど、地域にある素材をいかに子どもたちの興味関心湧くものにしていくかというところで取組をしているところです。

詳しくあればまた付け加えてもらいたいと思います。

○指導主事（寺門 東君） 詳しいというわけではございませんけども、そういう学習がなぜ可能になったのかというと、これはもうひとえに一人一台端末タブレットが整備されたからです。これからの教育は、もちろん大事にしなければいけないことは大事にしなければいけませんが、文科省は情報技術という言葉をしっかり使って情報活用能力を身につけなさいと打ち出しています。総合的な学習を通して情報活用能力を身につける。情報活用能力が身につけば、この答えのない世界を生き抜いていけるという目標で今後私たち教育関係者はやっていかなければいけないと思っていますので、そういう意味も含めてSTEAM教育の推進は大変重要だと思っております。

以上です。

○町長（新川 久三君） ありがとうございます。何かほかにございせんか。正野委員。

○委員（正野 法子君） 今お話にあったSTEAM教育のクイモとか、各小学校いろんな取組があると思うんですけど、小原小学校だったら神楽とかもその一つに入るんですかね。それぞれ学校によって取り組んでいるものが違うと思うんですけど、これ新しい小学校になった場合、統合して、そういった場合はどうなっていくんですか。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。今言われたように、それぞれの地域で特色ある取組をしてもらっています。令和9年には再編統合という形で一つの新しい小学校ができますが、そのカリキュラムの中にそれぞれの今まで地域でつくってきた伝統的な取組、神楽でありますとか、それから小原でありましたら米作り体験ですかね、そういうのを取り組んでいますけれども、そういうものをしっかりと位置づけながら、子どもたちが学べるように今カリキュラム、今年は令和7年でございますので試行をしました。令和8年は完全実施になりますので、そういうものをきちんと入れたカリキュラムで学べるように今整備をしているところです。

○町長（新川 久三君） いいですかね。何かほかにございますか。

なければ、これで意見交換を終わりたいと思います。

5番目のその他、特別に何かあれば、提言とか何かあれば。教育長。

○教育長（久保 ひろみ君） ありがとうございます。今御意見等もいただきました。この取組が進んでまいりましたのは、本当に思い起こしますと、町長がコミュニティ・スクール、私が就任する前でございましたけれども、コミュニティ・スクールの取組をスタートしていただきまして、地域と共にある学校づくり、そしてそれを取り巻く学校を核にした地域づくりをどんどん進めてほしいというところからこのような学校教育、そして社会教育の部門が今進められてきていると本当にありがたいなと思っていますところです。説明は学校教育、そして生涯学習課とありましたけれども、私はやはりこれは一体的に取組を進めていく。おぎゃーと生まれた赤ちゃんが成長していくには、学校教育の部門もありますし、家庭教育、社会教育の部門というのが非常に大きな

役割を果たすということで、今回このような取組がそれぞれの課でできていますのは、根本にあるコミュニティ・スクール、そして地域学校協働活動というこの取組からスタートしていると思いますので、我々、この理念をしっかりと理解して、今後子どもたちの育成、先ほど私が最初に申しましたけれども、これからいろいろなものが変化していくと思うんですけれども、その21世紀を担う持続可能な社会のつくり手に子どもたちを育てていかなければならないと思っておりますので、教育委員会としてもしっかりと実践を積み重ねて、よりよい子どもたちを進めていくとともに、地域づくりも私たちの役割ではないかなと思っていますので、皆さんのお力を借りてどんどん元気な築上町にしていけたらいいなというふうに思っています。

○町長（新川 久三君） それでは、ちょっと閉会前にもう一回私から。

本当に皆さんにはお世話になって、ありがとうございました。特に、私は町長就任以来、教育予算、これにはちょっと特別に委員会からの要求についてはほぼ満たしてきたんじゃないかなと思っておりますし、他の自治体からは「築上町いいね」という羨ましがられる声も聞いておるところでございます。いろんな面で教育というのがやっぱり日本の根幹、そしてまたそれは築上町、行政が携わるという形になっておりますので、予算は極力、使わないでいい教育ができれば一番いいんですけど、やっぱり予算は要るものでございますので、次の町長にもこういうことを念頭にやってもらえばと思っておりますので、今後とも新しい町長をよろしくお願い申し上げて、私の最後の言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。

では閉会しましょう。

○学校教育課長補佐（中原 寿浩君） それでは、以上をもちまして令和7年度第1回築上町総合教育会議を閉会したいと思います。

ありがとうございました。

午前9時45分閉会
